

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5 年 4 月 18 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470203492		
法人名	アイエルエス株式		
事業所名	グループホーム太陽		
所在地	広島市佐伯区利松3丁目25-42 (電話) 082-929-5533		
自己評価作成日	令和5年2月23日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470203492-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年4月12日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

いつまでも元気で長生きをして頂きたいとの思いを基本に個別ケアを中心に残存能力を維持しながら自分らしく生活していける様に支援をしていきます。体調管理をしっかり行い少しの異変でも気づく様に心掛けています。いつも笑っていて下さる様に工夫していく事を心掛けています。ご利用者様1人1人の居場所になって頂ける様頑張っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所の優れている点は、多角的なサービスが求められる現在、職員のほとんどが痰吸引や経管栄養を行うための、研修を受け資格を取得し利用者の安心・安全につなげている。現在も数名の利用者が毎日穏やかに過ごしている。医療体制も内科を始め、歯科・口腔ケア、精神科、訪問看護、薬剤師等が連携し必要時にはオンコールで対応している。またターミナル時、職員はリビングでいつも通り過ごす事の大切さと同時に、家族の希望が有れば居室で職員と共に見守る事もある。法人は研修や資格取得にもバックアップし介護の生産性向上に取り組んでいる。職員は理念に沿い「終の棲家」を念頭に、利用者本位のケアを目指し安心して暮らせるよう支援している。

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「終の棲家として安心して暮らしていける様ご利用様の尊厳を大切に生活のパートナーとして支えていきます」との理念を基本に朝の申し送り等基本を忘れない様に支援させていただきます。	理念に基づき職員は、利用者に寄り添い共に暮らせる事を掲げ、実践に活かすよう取り組んでいる。職員は元気で長生き、また部屋に閉じこもらずその人らしい暮らしが支援できるようチームで取り組んでいる。今後はライン(SNS)で伝達の漏れを防ぎ、目標を見える化しながら実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナの関係で他との交流が減ってきていますが、地域の保育園児さんが来所して下さったりしています。	地域とのつきあいは、コロナ禍の影響で以前のように出来ていない。しかしながら出来るだけ地域とのつきあいを考慮し、最近では近くの保育園の園児の訪問があり、握手をしたり直接触れ合う事があった。また事業所は地域の情報を得ながら、職員が掃除に参加したり交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	入居相談に来られる家族の方とお話しや認知症の方の支援方法などお話しさせて頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	開催は自粛中ですが、文章による報告をさせて頂いています。	会議は書面会議で定期的に行い、関係者が参加しているが、本人・家族は参加を見合わせている。取組み内容は報告のみになりがちだが、今後は行事や職員研修、ヒヤリハット等、日頃の取組み内容の報告を追加し、意見交換を行いながらサービスの向上に活かす取組みがある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	福祉、障害の関係の方とは、常に連携を取らせて頂いています。	事業所は日頃から協力関係を築く努力をしている。市町が主催する研修をオンラインで参加したり、市町の福祉課窓口に度々出掛け、担当者に利用者のメリットにつながる事案の相談をしながら、連携を図り情報を共有し途切れない関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束のマニュアルを作成し研修等で弊害を把握できる様に話し合っています。日中は施錠はしていません。	身体拘束をしない支援の大切さは、3か月毎に行う身体拘束委員会や実践を通じて職員は理解している。例えば利用者の行動を抑制するのではなく、自由と安全性について職員間で話し合い、グレーゾーンについても言葉による拘束等、気配りをしながら支援に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	虐待防止のマニュアルを作成し、研修等で学んだ事をスタッフと話し合っています。本を読んだりして虐待防止に取り組んでいます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度は活用させて頂いています。身寄りの居られない方の入居もあり、必要性を感じています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は十分時間を取り、不安や疑問が残らない様に説明させて頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様には苦情申し立てのできる窓口を設置し、家族様には、計画書作成時の意見を聞かせて頂く様にお手紙を出したりして意見を聞く機会を設けています。	家族から来所時等に意見を求める機会はある。家族会はコロナ禍で中断しているが、担当者から定期的に電話や手紙等で身近な出来事を知らせる努力をしている。事業所は家族の意見を取り入れ、リモート面会を試みた事もあり、要望を反映する努力をしている。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	申し送り時、又は個別に聞く機会を設けています。	職員からの意見は様々な場面で行っている。また職員からの要望があれば、例えば勤務時間等シフトの改善を提案し、話し合いを重ね必要に応じて反映するよう取り組んでいる。高額な備品が必要な場合、法人は出来る限り現場の要望に沿っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は勤務表により勤務状況を把握し、管理者の報告により、職場の人間関係や、やりがい等を把握しています。車椅子等スタッフの要望に応じて来ています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社外・社内研修を実施しながら日々のトレーニングを実施する様努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同業者とのネットワークに加入していますが、コロナの影響で自粛しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	担当のケースワーカー、ケアマネ、家族様に事前に情報収集し、本人様面談でしっかり、お話しを伺っています。		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>事前にしっかり、お話しをさせて頂き安心して入居して頂く様に努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人様、家族様との情報を元に周囲の環境をしっかり把握し、しっかり見極めて支援しています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>家事等、日常生活上の作業を通じ、喜怒哀楽を共にし、ご本人様から学んだり、支え合う関係を築く様努力しています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時間を設けず来たいときに来所して頂き行事等にも参加して頂ける関係を築く様に努力しています。毎月ご様子をお知らせさせて頂いています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご兄弟様から電話があったりされた時など、電話に出てお話しして頂いています。</p>	<p>利用者の毎日の生活を通して、本人が希望することを把握し関係の継続に努めている。現状では家族と共に食事に出席したり、気軽に外出等は出来ないが、孫から手紙が届けば、本人の希望が有れば代筆も行っている。職員は出来る限り途切れない関係の継続に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者様同士の関係を把握し、共同の作業を通じ支え合う様にしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	イベントのお便りのお誘いの手紙を出したり、年賀状を頂いたりしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のコミュニケーションを通じてしっかり傾聴し希望を検討しています。	利用者一人ひとりの生活歴や、日頃の暮らし方を把握し、時代劇が好きな人は鑑賞し、歌の好きな人はカラオケを楽しんでいる。意向の把握が困難な利用者は、独り言からヒントを得て、会話が難しくても思いを汲み取り、出来る限り希望に近づけるよう支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	関係者から可能な限り情報を貰っています。又本人様からも引き出せる様努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の記録の中に記載し、スタッフ間の申し送り等で、現状の様子を把握しています。日々しっかり観察する様にしています。		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人・家族様の意見を尊重し、主治医・看護師・スタッフの意見を取り入れて計画を作成しています。</p>	<p>モニタリングは3か月に1回行っている。必要な情報は職員が報告し、カンファレンスは3か月に1回行っている。状態の変化があれば医療的な場合は医師の指示のもと、職員は情報を共有し評価、見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>記録を工夫し、情報を共有し、その都度計画を見直しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>一人の方が長く居られる様に状態が変わっていても、対応できる様に医療と連携できる様しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>消防・役所との協力はできています。地域の保育園児さんとの訪問も再開しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>訪問医療の先生を主治医とし、訪問看護等連携をとり、検査が必要な時は受診しています。</p>	<p>利用者の殆どは、事業所の協力医療機関をかかりつけ医とし、訪問診療は週2回定期的に受けている。協力歯科医も口腔ケアと共に週1回受けている。訪問看護も週1回来所し薬剤師が投薬の管理をしている。有事にはかかりつけ医や看護師が必要に応じてオンコール体制で対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	24時間対応の訪問看護と連携を取り、週1回の定期訪問をして頂きオンコール対応をお願いしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医の仲介で入院先が決まり、その後は病院相談員さんとの連携、相談をしっかりと行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	家族様としっかり話し合い、終末期の時の方向性を決め、医療と連携をとり、柔軟に対応させて頂いています。	利用開始時に家族等に説明を行い同意書を交わしている。重度化した場合改めて家族と話し合い、方針を共有しながら支援する体制がある。職員は看取りの経験が有り、話し合いを行って情報を共有しながら、家族の気持ちに寄り添い安心して支援出来るよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	急変や事故発生時のマニュアルを作成し、看護師さんの指導を受けながら、実践力を身につけています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防災管理者を配置し、年2回の消防訓練を実施しています。	年2回の消防訓練は夜間を含め行っている。訓練後は消防署の指導を受け、利用者に対しては垂直避難を行う取り組みがある。また地理的環境を把握し、可視化することで素早い対応が取れるよう確認している。備蓄もローリングストックを行いながら確保している。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	管理者が全職員の接遇を観察し、適時注意を行っています。スタッフ同士でも注意しあっています。	職員は、利用者一人ひとりの生活歴を把握し、情報を共有している。事業所は大きな声でトイレ誘導しない等、言葉かけの工夫や敬語、尊敬語を心掛けながら、利用者の誇りやプライバシー保護に繋げている。書類面も事務所の鍵のかかるロッカーに保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個々に希望を聞いたり、引き出せる様コミュニケーションを図っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事や昼寝の時間等、希望や日々の体調に応じて、個々に対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	衣類等ご本人様と一緒に買い物に行ったり、理美容もご本人様の要望を聞いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	おやつレクに力を入れる様にしていきます。毎週スタッフと一緒におやつ作りを行い、月1回管理栄養士によるおやつレクを行っています。	食事は配食を利用しているが、味や栄養面を確認しながら提供している。テーブルの位置も気の合う人と食事を楽しめるよう配慮している。通年は回転ずし等外食やケータリングを楽しんでいたが、現状では職員と利用者が共にドーナツ等を作ったり、外のベランダでおやつを食べたりして楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一 日を通じて確保できるよう，一人ひと りの状態や力，習慣に応じた支援をし ている。</p>	<p>食事量や水分摂取量を記録に残し、毎月 体重を測っています。管理栄養士による 毎月のチェックを行っています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアを本人様と一緒に 週1回の訪問歯科による口腔ケアも 行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン，習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄の時間を記録し、パターンや習慣を 把握し、誘導、声掛けに努めています。</p>	<p>フロアーに2カ所、車イス対応の広いト イレがある。夜間はポータブルトイレの 使用者はいるが、見守りやセンサーマ ットを活用した支援をしている。更に職員 は機能低下につながらないように支援して いる。退院後車イスから自力でトイレに 行けるようになった事例もある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>定期的な水分摂取と身体を動かして頂く 事の声掛けや、便秘薬の調整で管理さ せて頂いています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。</p>	<p>入浴の曜日や時間は決まっていますが、 個々の体調や希望に応じて柔軟に対 応させて頂いています。</p>	<p>基本的には入浴の頻度は、週2回午前中 に行われている。困難な場合は順番や日 程の変更を行いながらタイミングが合 った時に入浴している。入湯方法も腰掛用 ターンテーブルを使い、工夫しながら快 適な入浴が行えるよう支援している。ま た皮膚の状態等も確認し柔軟に行ってい る。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	睡眠の状況を記録し、必要に応じて主治医に相談し、よく眠れる様に支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬情を保管し、変更があれば申し送り等で情報を共有しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	個々にあった役割や楽しみがあり、継続できる様に支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	買い物に一緒に行ったり、散歩に行ったりしています。外食もしていましたが、今は自粛しています。	コロナ禍で出掛ける事が困難な状況で、利用者は天気の良い日は裏庭で草むしりやプランターで花を栽培し、外気浴を楽しんでいる。車イス利用の人には、鍼灸師が外気浴を楽しめるよう支援している。職員は利用者が楽しめる外出を考え、出かける工夫をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理が可能な方はご自分で管理をして頂いています。難しい方はご家族様だったり、後見人の方が管理されていて、使いたい時には、使える様に支援しています。		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望があれば、電話、手紙のやり取りが出来る様に支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>落ち着いた雰囲気を出せる様に光の調整をしたり、音楽を流したりしています。</p>	<p>玄関を入るとリビング・ダイニングと続いている。外部の音は静かで大きなクライニングソファでビデオの時代劇を楽しんだり、体操の日やカラオケの日もある。散歩や仲良しの利用者がお喋りする等、職員は心地よい場所で好きな時間を過ごせるよう支援している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ダイニングテーブルとは別にソファを設置し、工夫しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>馴染みの家具、衣類等ご本人様が落ち着いて過ごせる様持ってきて頂いています。</p>	<p>居室はベット、クローゼット、エアコンが備え付けられ、利用者の中にはダンボールで作ったハンガー・ボックスや小さい机を置き、自由に過ごせるよう配慮している。職員は利用者が大切にしているものを把握している。また必要時には家族が泊まれるよう支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレ・口腔ケア等ご自分で出来る事は見守りをし、出来るだけご本人様にさせて頂いています。出来ない事はお手伝いさせて頂いています。</p>		

V アウトカム項目(1ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「終の棲家として安心して暮らしていただける様ご利用者の尊厳を大切にして生活のパートナーとして支えていきます」との理念を基本に朝の申し送り等基本を忘れない様に支援させていただきます。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナの関係で他との交流が減ってきていますが、地域の保育園児さんが来所して下さったりしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	入居相談に来られる家族の方とのお話を認知症の方の支援方法などお話しさせて頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	開催は自粛中ですが、文章による報告をさせて頂いています。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	福祉、障害の関係の方とは、常に連携を取らせて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束のマニュアルを作成し研修等で弊害を把握できる様に話し合っています。日中は施錠はしていません。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	虐待防止のマニュアルを作成し、研修等で学んだ事をスタッフと話し合っています。本を読んだりして虐待防止に取り組んでいます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度は活用させて頂いています。身寄りの居られない方の入居もあり、必要性を感じています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は十分時間を取り、不安や疑問が残らない様に説明させて頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様には苦情申し立てのできる窓口を設置し、家族様には、計画書作成時の意見を聞かせて頂く様にお手紙を出したりして意見を聞く機会を設けています。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>申し送り時、又は個別に聞く機会を設けています。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は勤務表により勤務状況を把握し、管理者の報告により、職場の人間関係や、やりがい等を把握しています。車椅子等スタッフの要望に応じてくれています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>社外・社内研修を実施しながら日々のトレーニングを実施する様努めています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>同業者とのネットワークに加入していますが、コロナの影響で自粛しています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>担当のケースワーカー、ケアマネ、家族様に事前に情報収集し、本人様面談でしっかり、お話しを伺っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前にしっかり、お話しをさせて頂き安心して入居して頂く様に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人様、家族様との情報を元に周囲の環境をしっかり把握し、しっかり見極めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	家事等、日常生活上の作業を通じ、喜怒哀楽を共にし、ご本人様から学んだり、支え合う関係を築く様努力しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時間を設けず来たいときに来所して頂き行事等にも参加して頂ける関係を築く様に努力している。毎月ご様子をお知らせさせて頂いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご兄弟様から電話があったりされた時など、電話に出てお話しさせて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者様同士の関係を把握し、共同の作業を通じ支え合う様にしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	イベントのお便りのお誘いの手紙を出したり、年賀状を頂いたりしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のコミュニケーションを通じてしっかり傾聴し希望を検討しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	関係者から可能な限り情報を貰っています。又本人様からも引き出せる様努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の記録の中に記載し、スタッフ間の申し送り等で、現状の様子を把握しています。個々しっかり観察する様にしています。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人・家族様の意見を尊重し、主治医・看護師・スタッフの意見を取り入れて計画を作成しています。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>記録を工夫し、情報を共有し、その都度計画を見直しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ変わるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>一人の方が長く居られる様に状態が変わっていても、対応できる様に医療と連携できる様しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>消防・役所との協力はできています。地域の保育園児さんとの訪問も再開しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>訪問医療の先生を主治医とし、訪問看護等連携をとり、検査が必要な時は受診しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	24時間対応の訪問看護と連携を取り、週1回の定期訪問をして頂きオンコール対応をお願いしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医の仲介で入院先が決まり、その後は病院相談員さんとの連携、相談をしっかりと行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	家族様としっかり話し合い、終末期の時の方向性を決め、医療と連携をとり、柔軟に対応させて頂いています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故発生時のマニュアルを作成し、看護師さんの指導を受けながら、実践力を身につけています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防災管理者を配置し、年2回の消防訓練を実施しています。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	管理者が全職員の接遇を観察し、適時注意を行っています。スタッフ同士でも注意しあっています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個々に希望を聞いたり、引き出せる様コミュニケーションを図っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事や昼寝の時間等、希望や日々の体調に応じて、個々に対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	衣類等ご本人様と一緒に買い物に行ったり、理美容もご本人様の要望を聞いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	おやつレクに力を入れる様にしています。毎週スタッフと一緒におやつ作りを行い、月1回管理栄養士によるおやつレクを行っています。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事量や水分摂取量を記録に残し，毎月体重を測っています。管理栄養士による毎月のチェックを行っています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアを本人様と一緒に，週1回の訪問歯科による口腔ケアも行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄の時間を記録し，パターンや習慣を把握し，誘導，声掛けに努めています。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>定期的な水分摂取と身体を動かして頂く事の声掛けや，便秘薬の調整で管理させて頂いています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴の曜日や時間は決まっていますが，個々の体調や希望に応じて柔軟に対応させて頂いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	睡眠の状況を記録し、必要に応じて主治医に相談し、よく眠れる様に支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬情を保管し、変更があれば申し送り等で情報を共有しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	個々にあった役割や楽しみがあり、継続できる様に支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	買い物と一緒にいたり、散歩に行ったりしています。外食もしていましたが、今は自粛しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理が可能な方はご自分で管理をして頂いています。難しい方はご家族様だったり、後見人の方が管理されていて、使いたい時には、使える様に支援しています。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望があれば、電話、手紙のやり取りが出来る様に支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>落ち着いた雰囲気を出せる様に光の調整をしたり、音楽を流したりしています。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ダイニングテーブルとは別にソファを設置し、工夫しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>馴染みの家具、衣類等ご本人様が落ち着いて過ごせる様持ってきて頂いています。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレ・口腔ケア等ご自分で出来る事は見守りをし、出来るだけご本人様にして頂いています。出来ない事はお手伝いさせて頂いています。</p>		

V アウトカム項目(2ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム太陽

作成日 令和 5年 5月 8日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	毎日の業務に追われ研修時間の確保が難しい。	全スタッフのステップアップ。	外部研修を含め時間を決めての研修時間を設ける。	1年
2	14	同業者との交流が余り持てていません。	同業者との交流を図りたいです。	ネットワークでの参加等を積極的に行う。	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。